

平成 24 年度 前期選抜の選抜・評価方法（予定）

学校番号 33

千葉県立船橋法典高等学校 全日制の課程 普通科

1 期待する生徒像

次のア、イ又はウの生徒

ア 中学校で遅刻・欠席・早退が少なく、かつ、本校入学後も学習活動に積極的に取り組む生徒

イ 中学校で生徒会活動や学校行事に積極的に取り組み、本校入学後もその分野に積極的に取り組む生徒

ウ 中学校で部活動などに3年間熱心に取り組む、本校入学後も部活動に積極的に取り組む生徒

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の得点の合計及び各教科の得点
(2) 調査書	教科の評定, 出欠の記録, 行動の記録, 特別活動の記録, 部活動等の記録, 総合所見等
(3) 自己表現	スピーチによる自己表現又は実技【陸上競技(男女), 野球(男), 卓球(男), バスケットボール(男女), バドミントン(男女), バレーボール(女), サッカー(男女), 剣道(男)及び書道(男女)の9つの種目から1つを選択】による自己表現の結果
(4) 面接	個人面接の結果
(5) 志願理由書	志願の理由及び自己アピール

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	得点合計の値を評価する。
各教科の得点	特に問題となる点がある場合、審議の対象とする。

(2) 調査書

次のイ、ウ及びエの評価項目は、評価基準をもとに数値化して65点満点で評価する。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	<ul style="list-style-type: none"> 全教科の評定の合計値を算式1により求めた値で評価する。 全学年の計の値が著しく低い教科がある場合、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	<ul style="list-style-type: none"> 3年間の欠席日数の合計が10日未満の場合、評価する。 3ヶ年皆勤の場合は、さらに評価する。 3年間の欠席日数が多く、その理由が不明確である場合、審議の対象とする。

ウ 行動の記録	<ul style="list-style-type: none"> ・○印の個数を評価する。 ・○印の個数が特に少ない場合、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録及び部活動等の記録	<ul style="list-style-type: none"> ・同一部活動を3年間続けた場合、評価する。 ・体育系・文化系の様々な分野において、校外の大会等で優秀な成績を残した場合、評価する。 ・漢字検定、数学検定、英語検定、毛筆検定又は硬筆検定において4級以上の資格を有している場合、評価する。 ・学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動等において委員長、本部役員、部長等としての活動した場合、評価する。
オ 総合所見	本校の期待する生徒像、並びに調査書の評価項目ア、イ、ウ及びエに関連する内容について評価する。

(3) 自己表現

出願時に申告した方法・種目（スピーチ、陸上競技等）で自己表現を行う。自己表現は、2名の担当者がそれぞれA・B・Cの3段階評価し、その評価を数値化して100点満点で評価する。

ア スピーチ

自己アピールや高校生活の抱負について、1人70秒から90秒で、2名の担当者前で話をする。メモ等の持込みは認めない。

評価項目	評価基準
(ア) 自己アピール・内容	本校の期待する生徒であることが、自分の言葉で分かりやすく表現できているか。
(イ) 表現力・意欲	表現力豊かで意欲的に伝えているか。
(ウ) 時間	制限時間を有効に使うことができたか。
(エ) 態度・話し方	礼儀、姿勢、言葉遣いはきちんとしているか。

イ 実技【陸上競技(男女)、野球(男)、卓球(男)、バスケットボール(男女)、バドミントン(男女)、バレーボール(女)、サッカー(男女)、剣道(男)】

各実技の実施方法は、検査の当日に指示する。実技に必要な持ち物等は、出願時に指示する。

評価項目	評価基準
(ア) 基礎運動	基礎的な運動能力を身につけているか。
(イ) 専門能力・技術	専門的な運動能力・技術を身につけているか。
(ウ) 意欲	取組に意欲があり、3年間続ける意志が感じられるか。
(エ) 態度	取り組む姿勢、態度、身だしなみはきちんとしているか。

ウ 実技【書道(男女)】

実技の実施方法は、検査の当日に指示する。実技に必要な持ち物等は、出願時に指示する。

評価項目	評価基準
(ア) 基礎技術	基礎的な技術を身につけているか。
(イ) 表現力・実践力	表現力・実践力を身につけているか。
(ウ) 意欲	取組に意欲があり、3年間続ける意志が感じられるか。
(エ) 態度	取り組む姿勢、態度はきちんとしているか。

(4) 面接

受検者 1 名ごとに 5 分程度の個人面接を実施する。面接は、3 名の担当者がそれぞれ A・B・C の 3 段階で評価し、その評価を数値化して 100 点満点で評価する。C の評価がある場合、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
(ア) 志望動機	本校の期待する生徒像を理解しているか。
(イ) 内容	質問をよく理解して、自分の考えで答えられているか。
(ウ) 規範意識	学校のルールを守ろうという意識があるか。
(エ) 態度等	礼儀、姿勢、言葉遣い、身だしなみはきちんとしているか。

(5) 志願理由書

評価項目	評価基準
志願理由	本校の期待する生徒像を踏まえた内容であるか。
自己アピール	本校の期待する生徒像を踏まえた内容であるか。

4 選抜方法**(1) 選抜の方法**

学力検査、調査書、自己表現及び面接検査の得点から算出した総合得点の順位を基準とし、次の各項目に留意して入学許可候補者を内定する。

- ア 学力検査の個々の得点
- イ 調査書の個々の教科の評定
- ウ 出欠の記録
- エ 行動の記録
- オ 面接における C の評価
- カ 志願理由書や自己申告書の記載内容

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜のための資料に加え、提出されたことにより、不利益な取扱いをすることがないように十分に留意する。

5 その他

特になし。